

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」富塚校			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～	2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～	2025年 12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026月1日13日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教職経験の豊富な指導員がいるため、学校との連携を取ったり、就学の際の進路について相談にのったりすることができる。 心理士資格を持つ指導員がおり、子どもの発達に関してより専門的な立場から保護者に助言ができる。	子どもの学校生活や発達の様子、進路等について不安を感じている保護者の方に相談や面接の機会を提案している。	就学後の進路について、どの指導員もある程度相談にのれるよう、情報や知識を共有していく。 研修等があったら参加し知識を身に付ける。
2	定期的には小集団イベントを実施している。	他児との関わりが持てるよう、ゲームや共同での制作活動などの機会を設けている。	どの子どもも参加できるよう、開催する曜日に偏りがないようにする。
3	指導員ごとにオリジナルのオリジナルのプログラムを用意し、毎回同じ支援内容にならないよう工夫している。	一人一人の利用者の課題や強みに合わせた支援内容を準備する時間を日々の業務の中で十分にとれるよう工夫している。	支援記録を参考に、継続するプログラムや変更するプログラムを柔軟に判断していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導員の数が少ないため、個々の指導員に時間的精神的な余裕があまりない。	新しい指導員が入ってこない。	業務の内容を精選し、効率の良い働き方を考える。
2	リトミックなど音楽を支援に取り入れることがあまりない。	校舎内にリトミックの経験のある指導員がいないため。	他校舎にいるリトミックが得意な指導員の支援を見学したり指導方法を教えてもらったりする。また研修会等があったら参加し知識を身に付ける。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室 きらり 富塚校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 12名

回収数

9名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1	0	0		限られたスペースでの活動ですが、可動式の机やパーテーションで臨機応変に対応しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	0	小集団のとき先生が多くいらっやあって安心します。	出来るだけ多くの指導員が関われるようにしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1	0	0		声掛けや掲示物で注意を促すようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	0	毎日来所の際に手を洗うのがすごくいいです。	今後も感染症予防のため教室内の消毒や手洗いの声掛けをしていきたいと思ひます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0	こまったり分らなかつたら教えてくれたり、まててくれるのがありがたいです。	今後もお子さんのペースに合わせた支援を心掛けていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2	0	5		ご希望がありましたら検討していきたいと思ひます。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	0	1	何回か親のガイダンスのようなものに参加していますが、いつもたのしくさらには勉強になります。	今後も保護者会を開催し、お子様や保護者様に有益な情報をお伝えしていきたいと思ひます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0	毎回支援のことを終了後おはなしして下さるので共通理解できます。	毎回支援後のフィードバックを熱心に聞いてくださりありがとうございます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0	たくさんほめてくれるので、本人もきちよく支援をうけることができてうれしそうです。	お子様お一人お一人の良い所見つけ、個性を伸ばすことを心掛けていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	1	3	預け先のない時に弟が同行同席させて頂いていますが、嫌な顔せず受け入れて下さり、毎回とてもたすかっています。	お子様のごきょうだいとの関わりを見させていただきます良い機会と思っております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	0		SNSによる発信を定期的に行うよう努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	0	2		マニュアルを見やすい場所に変更します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	2	0	3		定期的な訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	0		契約時のみの説明となっておりましてので今後、個別に説明を行っていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0	親子共にきらりに通えることを楽しみにしています。いつも工夫されたプログラムに先生方の対応に感謝です。ありがとうございます。	ありがとうございます。今後もお子様が安心して過ごせるようす努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0	毎回とても楽しみにしています。お姉ちゃんが塾に行っていてはきらりで勉強がんばる！！といつも言っています、笑	ありがとうございます。どのお子様も楽しく通っていただけるよう、活動内容や関わり方を工夫していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0	大変満足しています！！	ありがとうございます。今後もお子様のより良い発達のご支援をさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもサポート教室「きらり」富塚校		2026 年 2 月 14 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		必要に応じて机やパーテーションを動かし、スペースを確保している	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	他校舎より応援要請を行っている	指導員不足の時は、他校舎から補充する等の措置を取っていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・バリアフリーではないため段差等、怪我につながる恐れがある場については声掛けや見守りを行っている ・パーテーションを設置して独立した空間を作り、他児の様子が気にならないようにしている ・バリアフリーではないが、段差等の危険な場所があれば声掛けをしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・職員が分担して朝掃除をしている ・朝清掃をこなっている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個室ではないが、パーテーション等で区切って活動することに問題なく支援を行っている ・気持ちを落ち着かせたい場合や、静かに過ごしたい子のための別室がある ・パーテーションを動かし、周囲を囲うことができる	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・校舎職員が一つのチームとなり課題に対して話し合いの時間を持つようにしている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者からの評価を参考に、業務改善に努めている ・意見箱を設置している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼などの会合を設け、よりよい教室運営について話し合っている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・内部監査で第3者からの評価を受け、結果を業務改善につなげている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内外の様々な研修に参加し、資質の向上に努めている	
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・子ども一人一人の発達特性を考え、適切な支援プログラムを作成し、公表している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントを行い、一人ひとりの課題を明らかにして支援計画に生かしている	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管と指導員が話し合い、子どもにとって必要な支援は何かを考え支援計画を作成している	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画をいつでも閲覧できるようにし、適切な支援ができるようにしている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		指定の様式でのアセスメントを作成するとともに、支援の記録を基にしたアセスメントを行っている	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメントを行った上で、一人ひとりの課題を明らかにして職員内で共通理解をし支援内容を設定している。	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・子どもの課題を指導員間で共有し、有効なプログラムの立案に努めている ・職員間で情報を共有し、情報を基にプログラムを作成している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・担任指導員が固定されていないため、様々な内容の支援が提供されている ・担当児童を固定するのではなく、職員が交代して支援している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・定期的に集団イベントを実施し、他児と触れ合える機会を作っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼の中で配慮すべき事柄について確認している ・朝申し送りをして、情報を共有している	朝礼が行えない時は、社内ツールで状況共有をする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・緊急性のあることはその日のうちに共有、基本は翌日の朝礼で申し送りを行う ・次の日の朝礼で前日の支援の振り返りを行っている ・継続していきたい活動があれば、次回の担当職員に引継ぎをしている	朝礼が行えない時は、社内ツールで状況共有をする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録以外にも別のツールを使って特記事項を共有し、検証や改善に繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・主に児発管が参加し、必要に応じて他の職員も参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて園等を訪問し、子どもの様子を見学したり、情報共有したりしている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者の依頼を受け必要に応じて情報共有を行っています ・保護者から希望があれば保育所等訪問支援を行い保育園と情報共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・「かけはしシート」を使い、就学前に小学校との連携を図っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	児童発達支援連絡会に参加することで他事業所との交流を図り、事例検討会に参加して学んでいる	今後は児童発達支援連絡会以外にも交流できる機会を持つようにしていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		1時間の個別支援のためそのような機会を設けることは難しいが前向きに検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎支援後の振り返り時に、子どもの状況を報告すると共に情報共有をしている ・支援中に保護者に見学していただき、支援後に課題について話している	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・親子参加型のイベントを開催しています	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に児発管が説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・相談支援事業所からの情報共有やサービス担当者会議で意向を確認している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・個別相談を行い、保護者からの相談に応じている ・希望があれば事業所内相談を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・ニーズに合わせた内容で保護者会を開催している	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		希望があれば個別で事業所内相談を行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・ブログやインスタ等で活動の様子を発信している ・毎月ブログを更新し、情報発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載されているファイルは鍵付きロッカーで保管している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚情報を用いるなど、分かりやすく伝える配慮をしている	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		○		地域の方々を招待する企画はないが、見学や体験、お問い合わせはいつでも対応可能。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・月に一度防災訓練を実施し、避難するルート等を確認している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・基本情報シートの提出とヒアリングにより確認させていたっている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・基本情報シートの提出により把握しているが、当事業所に飲食の提供はなし。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時、書面にて説明を行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット作成時には、職員全員が内容を確認し、押印している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		個別支援計画に記載し、提示する際に説明している	